

女性活動の合いこば

- 一、手と心をつなぎ、明るく豊かな町をつくりましょう。
- 一、互いに人格を認めあい、奉仕の心を養いましょう。
- 一、からだをきたえ、人生に希望と誇りをもちましょう。
- 一、お年寄りを敬い、子供を愛し、円満な家庭をつくりましょう。
- 一、力を合わせて、薫り高い郷土の文化をつくりましょう。

標茶町女性団体連絡協議会機関紙



平成27年度 第175号 平成28年1月1日

標茶町女性団体連絡協議会

発行責任者 会長 千葉 博子 標女連広報委員会

年始のごあいさつ

千葉 博子

皆さん、あけましておめでとうございます。

昨年中は、標女連の活動に對しまして、標茶町をはじめとするたくさんの方たちのご支援・ご協力をいただき、役員一同厚く感謝申し上げます。恒例の研修旅行、男女平等参画標茶集會をはじめ、釧女連や全道女性大会への参加、関連する各団体の会議への出席など、町内にとどまらず釧路、名寄で活動してまいりました。また、3月に予定しています「女性のつどい」は、例年たくさんの方に参加いただき「楽しかった」「学んで良かった」と称賛の声を頂戴しています。現在企画を検討していますが、たくさんの方の参加をお待ちしております。今年もまた、皆さんと共に、標女連の活動を楽しく意義あるものにしていきたいと思っておりますので、ご支援・ご協力をよろしくお願いします。お願ひします。



男女平等参画標茶集會に参加して

広崎 恵美子

去る11月21日、前日の大雨で開催が心配されていた男女平等参画標茶集會は、好天の中、大勢の方に参加いただき無事に開催されました。今年度は「知っておきたい認知症」をテーマに、標茶町地域包括支援センター保健師の多津美望氏に「認知症について」の講演をしていただきました。

認知症と言うとちょっと重いテーマですが「この機会に勉強できれば」と思い、心して参加させていただきました。やはり認知症もほかの病気と同じく、早期発見、早期治療が重要であり、ストレスを溜めないことが肝要なのかなど思いました。講演では、認知症予防法、手の体操を実践しながら教わりました。また、規則正しい食生活や脳神経の活性化、ストレスの対処法など、認知症の方に対してどのように接することが良いのか勉強させていただきました。身近な話題なので、個人にとどめず、地域社会の問題として捉え、考えていかなければならないと思いました。

中尾 敬子

10月21日の男女平等参画標茶集會で、認知症についての講演会に参加しました。私たちが毎日お世話になっている脳機能から見た認知症は、脳の障がい直接の原因で起きる「中核症状」と呼ばれています。中核症状には記憶障がい、見当識障がい、理解・判断力の障がい、実行機能障がい、そのほか感情表現の変化などがあり、日常生活を首尾よく営むことができなくなります。この症状が元でさらに行動・心理症状などの障がいへと進んでいくそうです。なんと恐ろしい事でしょう。

講演の中では、脳の一部の細胞が壊れることで出現する細かいたくさんさんの正常でない症状を早期発見し、早期治療で進行を抑えることが可能であると、長い時間をかけて話されました。今日では予防方法もたくさん情報化されていますが、いかに早期に正常でない小さな症状をチェックできるかが重要ではないかと思えます。今後、65歳以上の6人に1

会の動き

11月:

三役会議・役員会

11月21日:

男女平等参画標茶集會

予定

1月上旬:役員会

1月下旬:理事会

2月上旬:

理事会・町内会案内・ポスター展示

2月中旬:役員会

3月5日:

女性のつどい準備

3月6日:女性のつどい

3月中旬:役員会